

# 2022年度(2023年3月期) 第2四半期決算説明資料(IFRS)

IHI

2022年11月8日

株式会社 IHI



# 目次

1. 2022年度第2四半期 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	11
連結財政状態計算書.....	12
連結キャッシュ・フロー計算書.....	13
補足資料.....	14
2. 2022年度 連結業績見通し	
通期業績見通し.....	17
報告セグメント別内訳.....	18
連結キャッシュ・フロー 通期見通し.....	21
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	23
社会基盤・海洋.....	25
産業システム・汎用機械.....	27
航空・宇宙・防衛.....	29
<参考資料>.....	31

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

IHI

# 1. 2022年度第2四半期 連結決算

- 全セグメントにおいて営業利益を確保。
- 民間向け航空エンジンでは、航空業界の人手不足に伴う影響はあるものの、全体の回復基調は変わらず、さらに採算改善と為替円安が利益を押し上げ。
- 車両過給機では、原材料価格高騰の影響はあるものの、自動車会社の生産調整からの回復が継続。
- そのほかの事業も、全体として堅調に推移。

# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書)

(億円)

	'21年度2Q	'22年度2Q	増 減
受 注 高	5,083	6,428	1,344
売 上 収 益	5,165	5,944	779
営 業 利 益	263	335	71
税引前四半期利益	266	395	129
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	151	211	59

売上平均レート(米ドル) '21年度2Q 110.34円  
'22年度2Q 131.56円

# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'21年度2Q	'22年度2Q	増減	'21年度末	'22年度2Q末	増減
資源・エネルギー・環境	1,471	2,109	638	5,275	5,998	723
社会基盤・海洋	877	555	▲322	2,500	2,336	▲164
産業システム・汎用機械	1,795	2,236	441	1,807	2,049	241
航空・宇宙・防衛	868	1,492	623	2,838	2,827	▲10
報告セグメント計	5,012	6,393	1,381	12,421	13,211	789
その他	248	255	6	228	228	▲0
調整額	▲176	▲220	▲43	-	-	-
合計	5,083	6,428	1,344	12,650	13,440	789
海外受注高・受注残高	2,278	3,450	1,172	3,423	4,102	678
海外受注高・受注残高比率	45%	54%	9%	27%	31%	3%

# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'21年度2Q	'22年度2Q	増減	'21年度2Q	'22年度2Q	増減
資源・エネルギー・環境	1,597	1,645	48	80	100	20
社会基盤・海洋	699	754	54	40	31	▲9
産業システム・汎用機械	1,759	2,002	242	55	53	▲1
航空・宇宙・防衛	1,082	1,509	426	▲123	188	311
報告セグメント計	5,138	5,911	772	52	374	321
その他	245	220	▲24	14	1	▲12
調整額	▲219	▲188	30	196	▲40	▲236
合計	5,165	5,944	779	263	335	71

海外売上収益	2,275	3,124	849
海外売上収益比率	44%	53%	9%

# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前年同期比増減要因)

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	26	11	10	▲14	▲13	20
社会基盤・海洋	▲8	1	1	▲3		▲9
産業システム・汎用機械	13	▲34	10	▲9	18	▲1
航空・宇宙・防衛	98	91	130	▲8		311
報告セグメント計	129	69	151	▲34	5	321
その他	▲9		▲2	▲7	6	▲12
調整額	▲1			▲17	(※1)▲218	▲236
合計	118	69	149	▲58	▲207	71

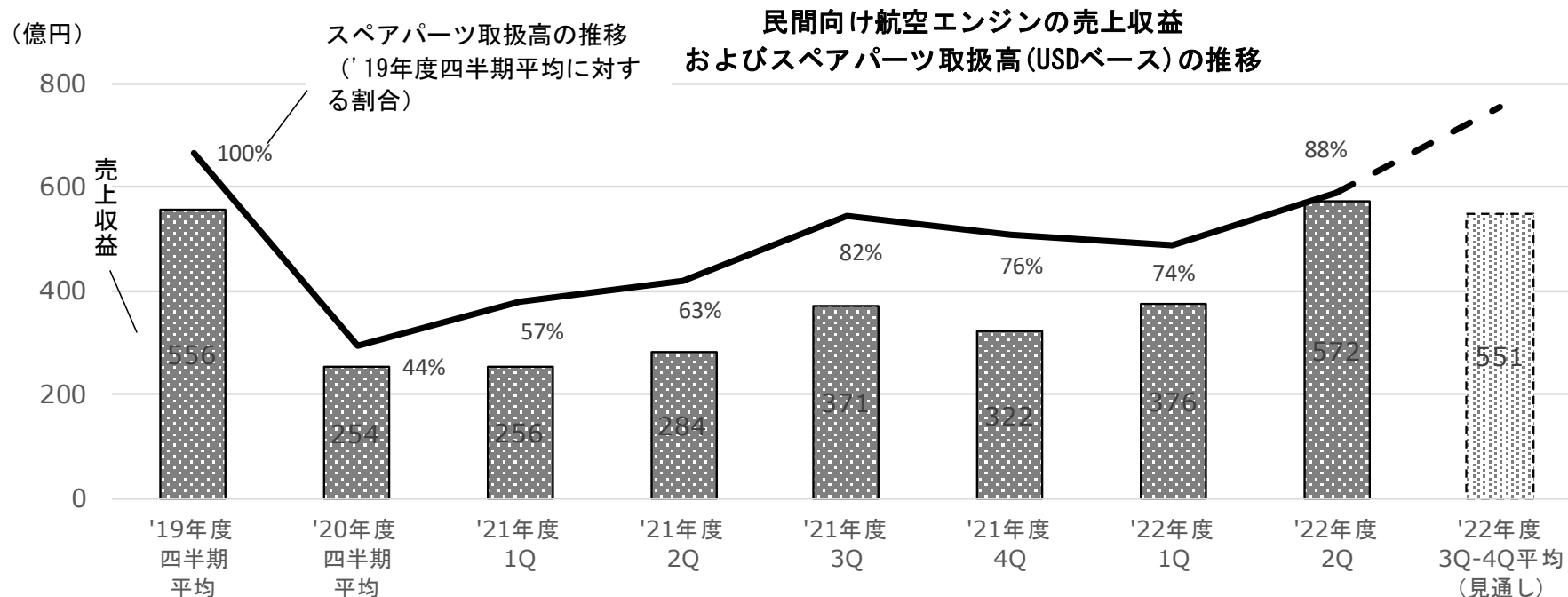
報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

販管費の変動とその他損益の増減では為替の変動などを除いている。

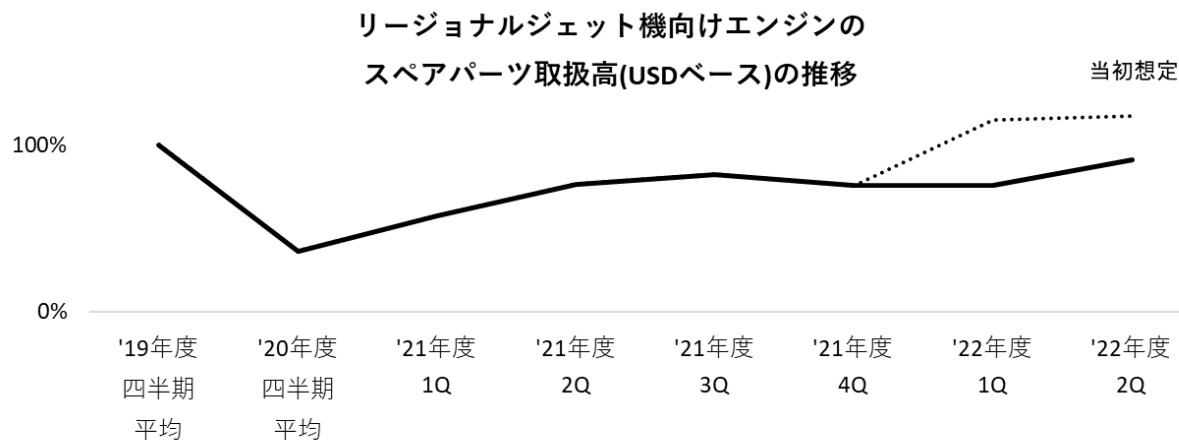
(※1)前年同期に計上した資産売却の影響▲217億円を含む。



# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(民間向け航空エンジンの状況)

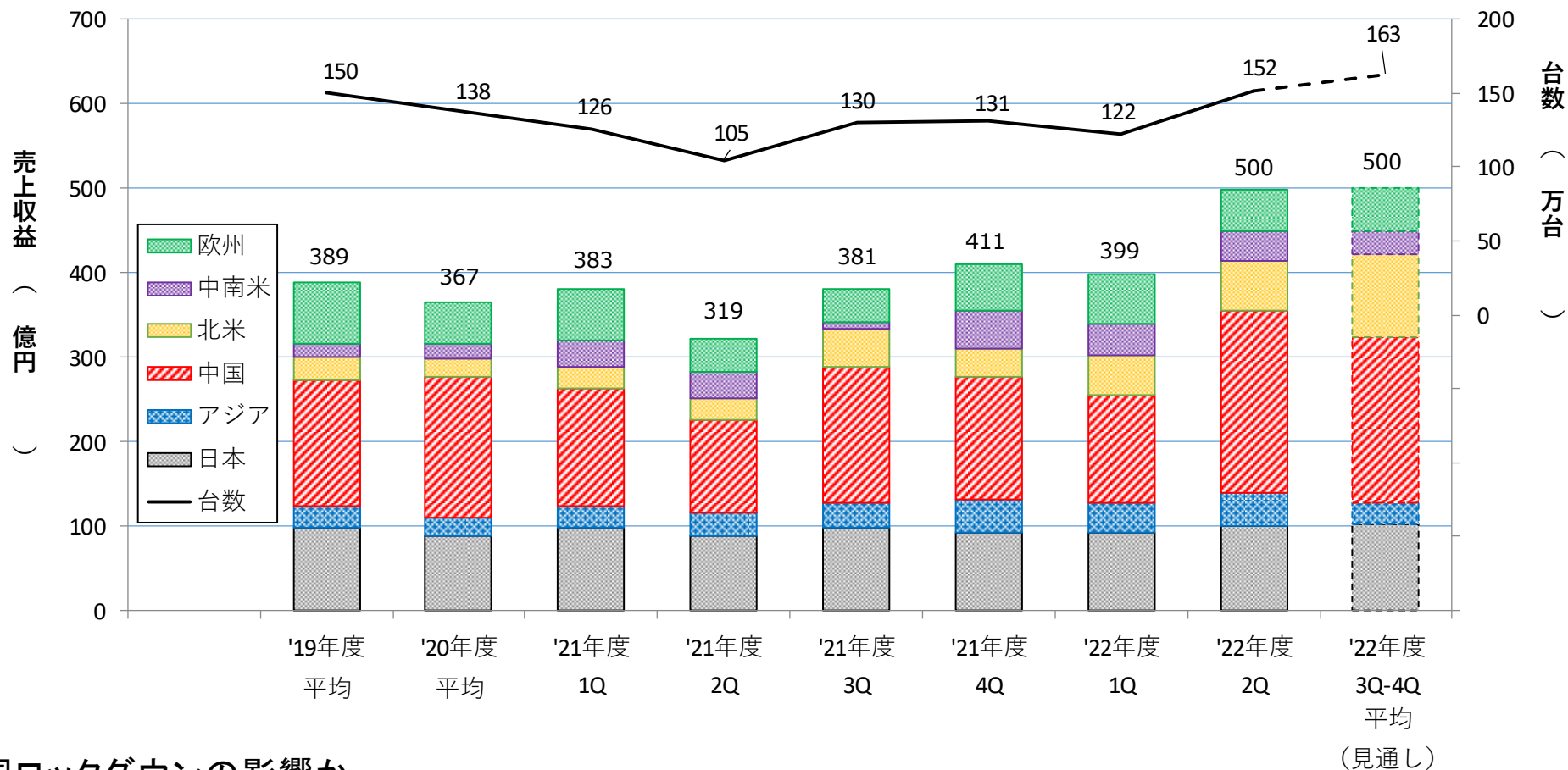


スペアパーツの取扱高は、航空業界での人手不足の影響が出ているが、回復基調は続いている。



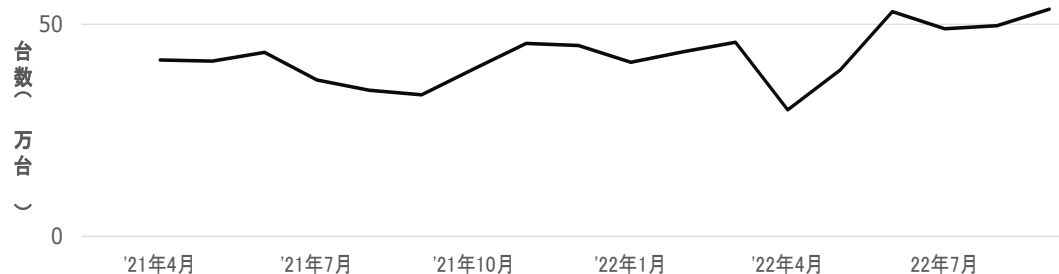
# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(車両過給機の状況)

車両過給機 販売台数・地域別売上収益推移



中国ロックダウンの影響から、4月を底に急回復。原材料価格高騰の影響が顕在化しており、価格転嫁に向けお客さまと交渉中。

車両過給機 販売台数月別推移



# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 金融損益等

(億円)

	'21年度2Q	'22年度2Q	増 減
為替差損益	7	113	105
持分法による投資損益	8	▲36	▲44
その他の金融損益	▲13	▲17	▲3
<b>金融損益等</b>	<b>2</b>	<b>59</b>	<b>57</b>

期末日レートの変動(米ドル) '21年度2Q +1.27円 (期首110.65円→期末111.92円)  
'22年度2Q +22.34円 (期首122.39円→期末144.72円)

# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'21年度末	'22年度2Q末	増減
<b>資産合計</b>	<b>18,796</b>	<b>19,034</b>	<b>237</b>
(うち 現金及び現金同等物)	(1,454)	(953)	(▲ 501)
(うち 営業債権, 契約資産)	(4,745)	(4,845)	(100)
(うち 棚卸資産)	(3,401)	(3,947)	(546)
<b>負債合計</b>	<b>14,726</b>	<b>14,657</b>	<b>▲ 69</b>
(うち 営業債務等)	(2,354)	(2,220)	(▲ 133)
(うち 契約負債)	(2,147)	(2,196)	(49)
(うち 有利子負債残高)	(5,055)	(5,076)	(20)
社債及び借入金	(3,722)	(3,785)	(63)
リース負債	(1,333)	(1,290)	(▲ 42)
<b>資本合計</b>	<b>4,070</b>	<b>4,377</b>	<b>306</b>
親会社の所有者に帰属する持分	3,821	4,110	289
非支配持分	249	266	17
<b>負債・資本合計</b>	<b>18,796</b>	<b>19,034</b>	<b>237</b>
<b>D/Eレシオ (※1)</b>	<b>1.24倍</b>	<b>1.16倍</b>	<b>▲ 0.08倍</b>
<b>親会社所有者帰属持分比率 (※2)</b>	<b>20.3%</b>	<b>21.6%</b>	<b>1.3%</b>

(※1) D/Eレシオ=有利子負債／資本合計

(※2) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分／負債・資本合計

# 1. 2022年度第2四半期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'21年度2Q	'22年度2Q	増 減
税引前四半期利益	266	395	129
減価償却費(※1)	334	315	▲19
運転資本増減(※2)	▲128	▲599	▲470
その他	(※3) ▲445	19	464
小計	26	130	103
法人所得税等	▲24	▲230	▲205
営業キャッシュ・フロー	1	▲99	▲101
投資キャッシュ・フロー	27	▲216	▲243
フリー・キャッシュ・フロー	29	▲316	▲345
財務キャッシュ・フロー	▲438	▲193	244

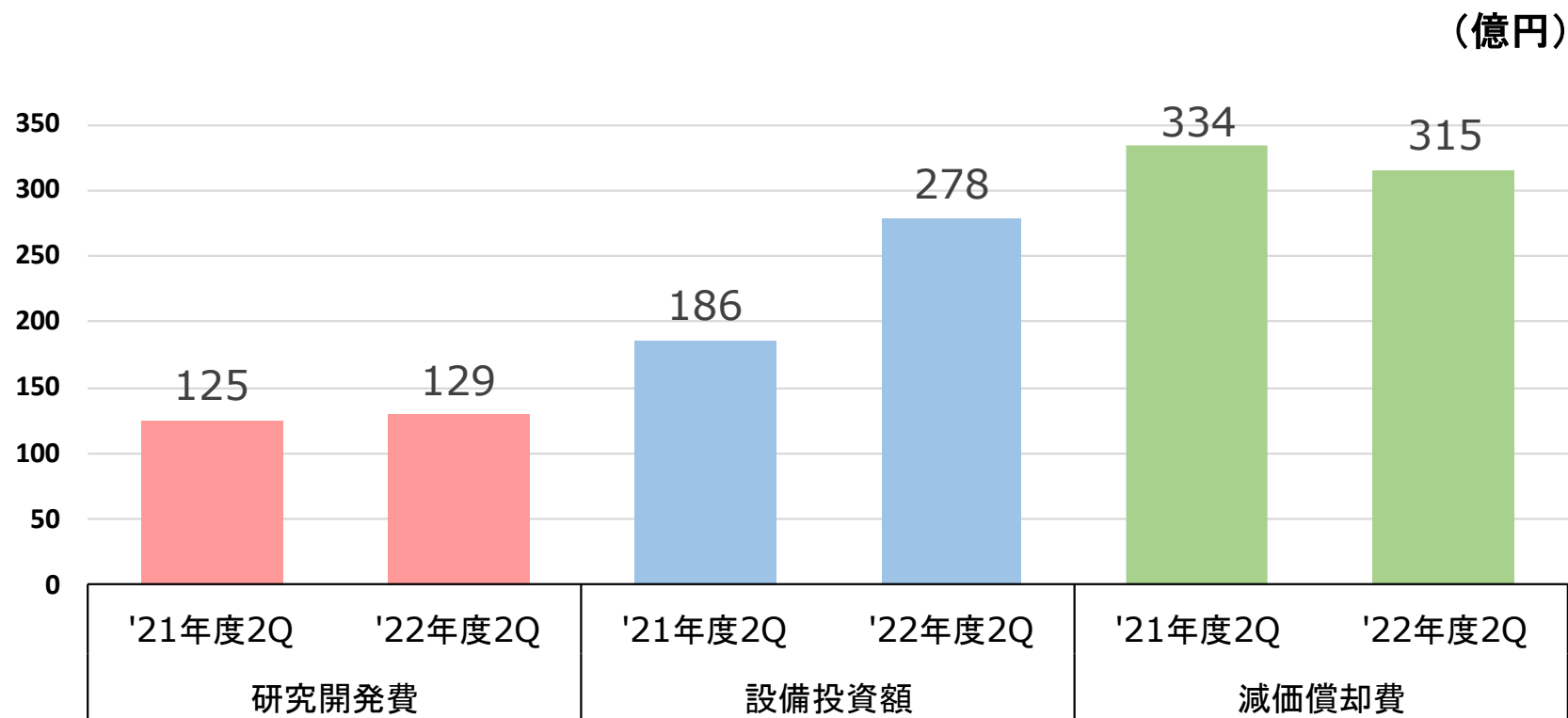
(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本＝営業債権＋契約資産＋棚卸資産＋前払金－契約負債－営業債務－返金負債

(※3)保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額▲217億円を含む。

## (1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費



設備投資額，減価償却費は，有形固定資産，投資不動産，使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益

(億円)

	'21年度2Q	'22年度2Q
日本	2,889	2,819
アジア	740	943
中国	420	559
北米	692	1,115
中南米	64	87
欧州	316	367
その他	41	51
合計	5,165	5,944

## 2. 2022年度 連結業績見通し



## 2. 2022年度 連結業績見通し 通期業績見通し

前提為替レート 米ドル 130円  
(第3四半期以降)

(億円)

	'21年度実績	'22年度 前回見通しA (※1)	'22年度 今回見通しB	増 減 B-A
受 注 高	12,612	13,300	13,300	0
売 上 収 益	11,729	13,500	13,500	0
営 業 利 益	814	850	850	0
税引前当期利益	876	800	800	0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	660	500	500	0

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による、営業利益への影響額): 米ドル 6億円

(※1) 前回見通しは、2022年8月9日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

配当見通し(変更なし) 1株あたり 80円(中間 40円, 期末 40円)

## 2. 2022年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,738	3,600	3,600	0
社会基盤・海洋	1,810	1,700	1,700	0
産業システム・汎用機械	3,845	4,500	4,500	0
航空・宇宙・防衛	3,047	3,500	3,500	0
報告セグメント計	12,441	13,300	13,300	0
その他	547	500	500	0
調整額	▲376	▲500	▲500	0
合計	12,612	13,300	13,300	0

## 2. 2022年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)

(億円)

	売上収益				営業利益			
	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増減 B-A	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,444	3,800	3,800	0	229	260	260	0
社会基盤・海洋	1,673	1,700	1,700	0	153	170	170	0
産業システム・汎用機械	3,769	4,400	4,400	0	128	270	270	0
航空・宇宙・防衛	2,652	3,600	3,600	0	▲93	400	400	0
報告セグメント計	11,540	13,500	13,500	0	418	1,100	1,100	0
その他	627	500	500	0	▲10	20	20	0
調整額	▲439	▲500	▲500	0	406	▲270	▲270	0
合計	11,729	13,500	13,500	0	814	850	850	0

## 2. 2022年度 連結業績見通し

### 報告セグメント別内訳(前回見通しからの営業利益の増減要因)

- 資源・エネルギー・環境は、原動機で事業構造改革費用を計上したものの、工事採算の改善を見込み、据え置き。
- 航空・宇宙・防衛は、民間向け航空エンジンで航空業界人手不足を背景としたスペアパーツ販売鈍化などの影響があるものの、採算改善や為替レートが円安に推移したため、据え置き。

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境		10			▲ 10	0
社会基盤・海洋						0
産業システム・汎用機械						0
航空・宇宙・防衛	▲ 70	50	20			0
報告セグメント計	▲ 70	60	20	0	▲ 10	0
その他						0
調整額						0
合計	▲ 70	60	20	0	▲ 10	0

## 2. 2022年度 連結業績見通し 連結キャッシュ・フロー 通期見通し

(億円)

	'21年度実績	'22年度 前回見通しA	'22年度 今回見通しB	増 減 B-A
税引前当期利益	876	800	800	0
減価償却費(※1)	675	610	610	0
運転資本増減(※2)	230	0	0	0
その他	▲640	▲110	▲110	0
営業キャッシュ・フロー	1,141	1,300	1,300	0
投資キャッシュ・フロー	279	▲900	▲900	0
フリー・キャッシュ・フロー	1,420	400	400	0

(※1) 減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用权資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2) 運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

### 3. 報告セグメント別の概況

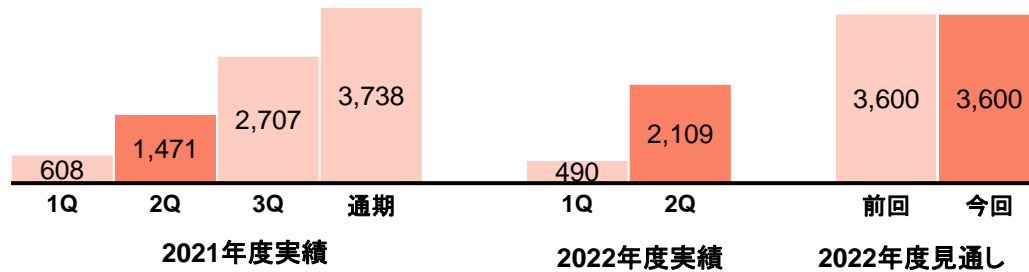
### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円/各期の金額は累計)

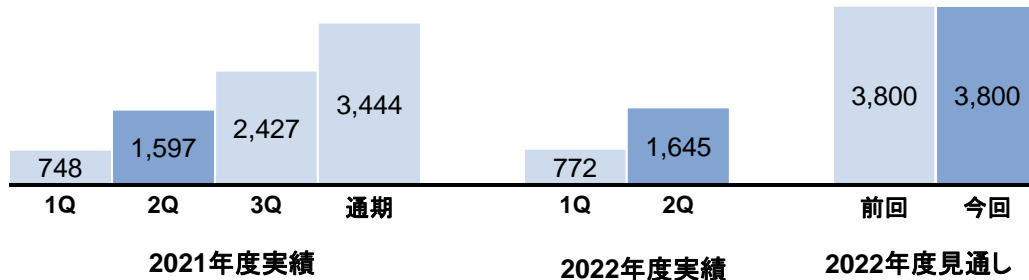
前回: 2022年8月9日公表の業績予想数値

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

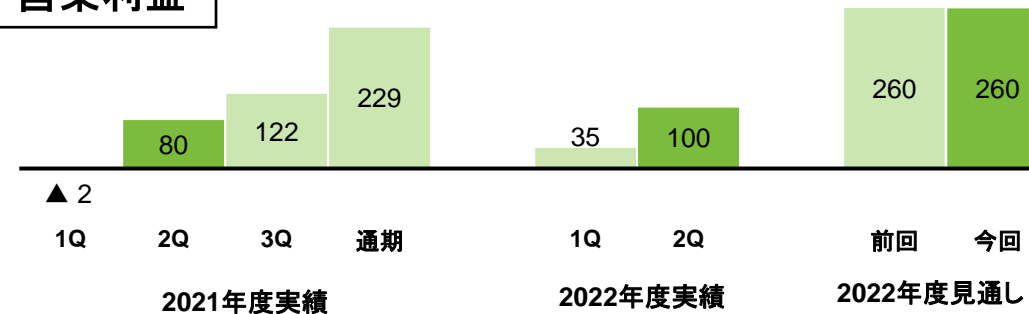
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

東南アジアの子会社で増加。

##### 【売上収益】

原動機で減収となったものの、原子力などで増収。

##### 【営業利益】

原動機で事業構造改革費用を計上したものの、原子力で工事が進捗したことにより増益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 受注高は、前回見通しから変更なし。
- 売上収益・営業利益は、原動機で事業構造改革費用を計上したものの、工事採算の改善を見込み、据え置き。

### 3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高							売上収益						
	'21年度				'22年度			'21年度				'22年度		
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期
原 動 機	255	414	604	846	222	491	860	186	384	610	889	157	326	860
カ ー ボ ン ソ リ ュ ー シ ョ ン	154	622	1,156	1,591	33	239	1,800	352	764	1,129	1,558	323	737	1,630
原 子 力	104	269	584	707	113	255	370	60	163	280	453	159	287	750



### 3. 報告セグメント別の概況

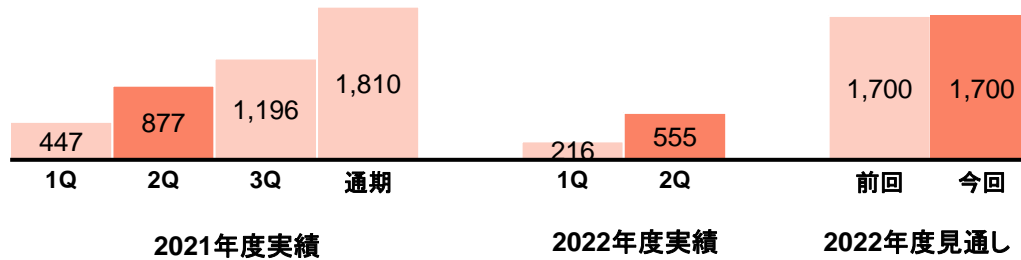
## 社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

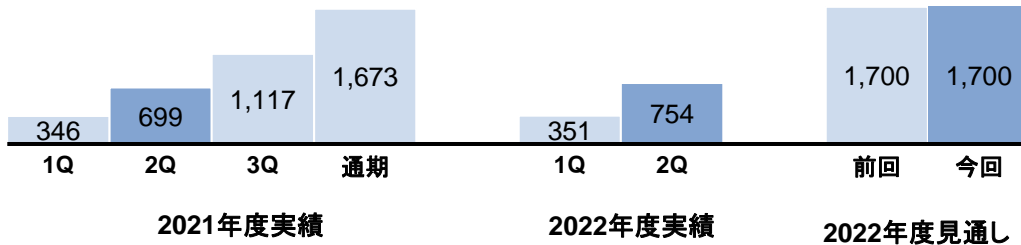
前回: 2022年8月9日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,  
交通システム, コンクリート建材

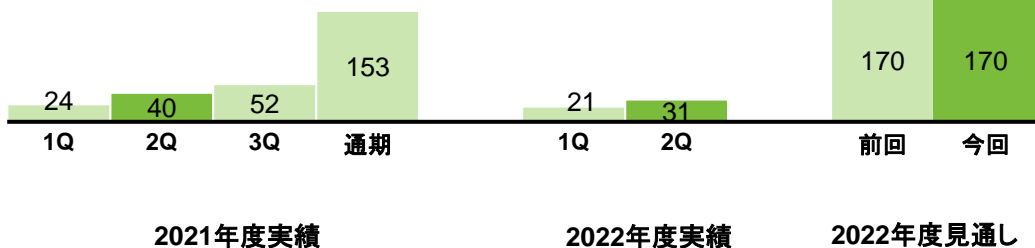
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

橋梁・水門で減少。

##### 【売上収益】

シールドシステムや都市開発で減収となったものの、橋梁・水門で増収。

##### 【営業利益】

橋梁・水門で増益となったものの、シールドシステムや都市開発での減収に伴い減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 前回見通しから変更なし。

### 3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高							売上収益						
	'21年度				'22年度			'21年度				'22年度		
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期
橋 梁 ・ 水 門	312	614	806	1,109	93	274	910	178	336	555	896	202	438	1,030
シールドシステム	12	44	86	146	14	43	330	58	120	175	227	51	93	220
都 市 開 発	46	94	141	184	43	85	170	46	96	140	186	41	85	170

「都市開発」の豊洲地区関連情報は、＜参考資料＞都市開発を参照。

### 3. 報告セグメント別の概況

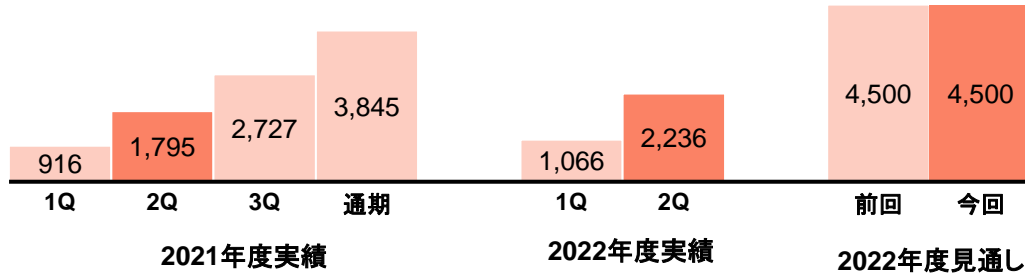
## 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

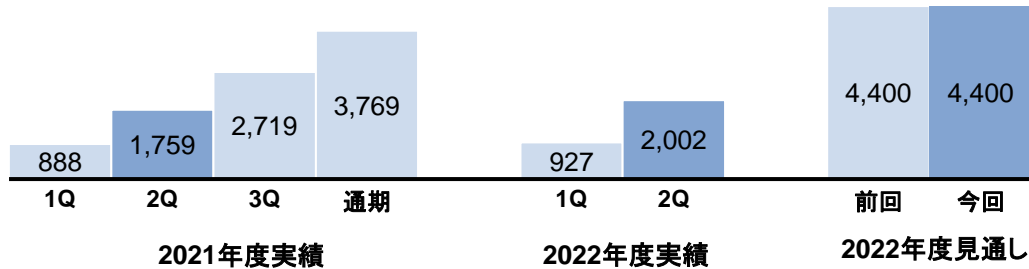
前回: 2022年8月9日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械,  
熱・表面処理, 運搬機械, 物流・産業システム

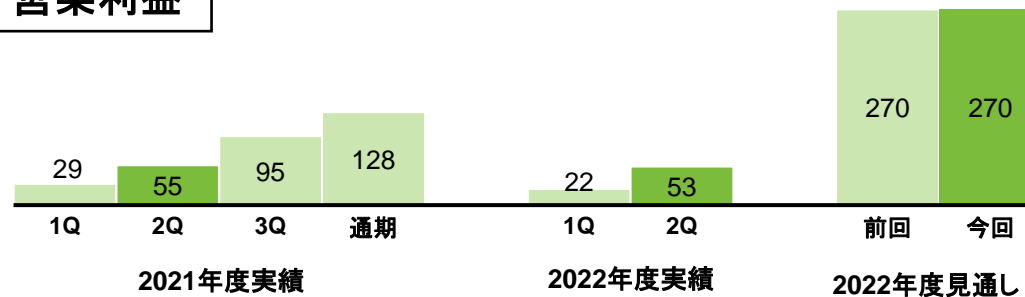
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

車両過給機や回転機械で増加。

##### 【売上収益】

車両過給機や熱・表面処理で増収。

##### 【営業利益】

回転機械や熱・表面処理で増益となったものの、物流・産業システムやパーキングでの好採算案件減少により減益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 前回見通しから変更なし。

### 3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高							売上収益						
	'21年度				'22年度			'21年度				'22年度		
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期
車両過給機	386	714	1,100	1,518	397	897	1,900	383	702	1,083	1,494	399	899	1,900
パーキング	106	229	333	524	116	277	540	91	196	319	472	94	200	520
回転機械	136	267	391	559	184	345	630	119	237	376	527	117	263	610
熱・表面処理	107	209	326	435	135	253	510	87	186	285	396	101	216	470
運搬機械	41	97	135	230	85	169	320	73	164	242	310	89	159	330
物流・産業システム	49	131	234	319	77	159	490	67	149	235	323	66	141	430

「車両過給機」の詳細は、＜参考資料＞車両過給機を参照。

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	2Q累計	通期
2021年度	231	492
2022年度	274	600

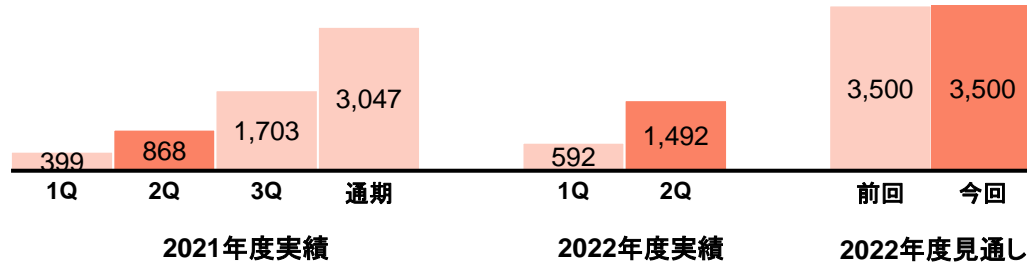
### 3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

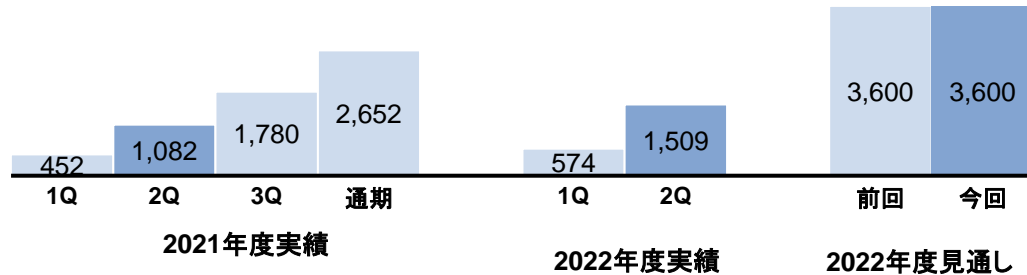
前回: 2022年8月9日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用  
防衛機器システム

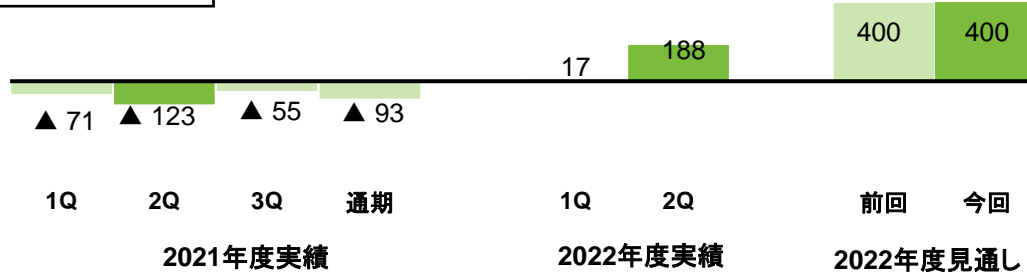
#### 受注高



#### 売上収益



#### 営業利益



#### 実績(対前年同期)

##### 【受注高】

民間向け航空エンジンなどで増加。

##### 【売上収益】

民間向け航空エンジンでの, エンジン本体・スペアパーツの販売増加に加え, 為替が円安に推移したことにより増収。

##### 【営業利益】

民間向け航空エンジンでの, スペアパーツの販売増, 採算改善に加え, 為替が円安に推移したことにより増益。

#### 通期見通し(対前回見通し)

- 受注高は, 前回見通しから変更なし。
- 売上収益・営業利益は, 民間向け航空エンジンで航空業界人手不足を背景としたスペアパーツ販売鈍化などの影響があるものの, 採算改善や為替レートが円安に推移したため, 据え置き。

### 3. 報告セグメント別の概況

#### 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高							売上収益						
	'21年度				'22年度			'21年度				'22年度		
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期
民間向け航空エンジン	257	535	899	1,219	371	949	2,060	256	540	911	1,233	376	946	2,050

「民間向け航空エンジン」の詳細は、＜参考資料＞航空エンジンを参照

＜民間向け航空エンジンの販売台数＞

(台)

販売年度	2Q累計	通期
2021年度	420	789
2022年度	460	1,077

## < 参考資料 >

- ・当第2四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

## アラブ首長国連邦と日本を繋ぐクリーン・アンモニアのサプライチェーン実証の実施

株式会社INPEX, IHI, 株式会社商船三井は, アラブ首長国連邦(UAE)と日本を繋ぐ, クリーン・アンモニア・サプライチェーンの実証を, 実施しました。

本実証において使用したクリーン・アンモニアは, アブダビ国営石油会社(ADNOC)とOCI.N.V. の合弁会社である肥料メーカー大手のFertiglobe がアブダビで生産された天然ガスから製造し, ADNOCが供給したものです。同アンモニア生産時に排出された二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を回収し, INPEXが参画するアブダビ陸上油田において地下に圧入することで, CO<sub>2</sub>排出量を抑制したものです。

また, IHIは同クリーン・アンモニアを用いて, 開発中のアンモニア焚きタービンにて燃焼実験を行ないました。



＜クリーン・アンモニアのIHI納入式典の様子＞

## IHI×東北大学アンモニアバリューチェーン共創研究所を設置～産学連携で社会実装の早期化につなぐ～



＜東北大学で行なわれた開所式の様子＞

(左から:東北大学総長 大野 英男, IHI相談役 斎藤 保)

東北大学とIHIは, 2013年から燃焼分野を中心に燃料アンモニア利用技術の研究開発を世界に先駆けて共同で取り組み, 国の主導するプロジェクトへの共同応募, 共同研究, IHIからの研究者派遣, 相互技術交流を積極的に推進してきました。このたびの共創研究所設置によりこの協力関係をさらに強固なものにし, バリューチェーン全体の課題探索と解決にともに取り組みすることで, アンモニアを利用したカーボンニュートラル化を推進していきます。

共創研究所では, 同所員のみならず, 課題に応じて東北大学とIHIのエキスパートを柔軟に加えて共創活動を進め, アンモニアバリューチェーンにおける課題の深掘りと解決策を確立していくことで, 成果の早期社会実装につなげていきます。



## 綾瀬スマートインターチェンジに隣接、「MFLP東名綾瀬」が竣工



<MFLP東名綾瀬 外観>

IHIと三井不動産株式会社は、共同事業として開発を進めてきた物流施設「MFLP東名綾瀬」を2022年8月14日に竣工しました。

同施設は荷主の拡大する店舗網に対応する在庫配送型の物流センターで、IHI物流産業システムの協力のもと入居テナントに対するマテリアルハンドリング等の機械化提案を行ない、テナントニーズに合わせた機能強化・省人化に寄与しております。



<アルミデッキヘリポート>

また、物流施設としては国内初のアルミデッキヘリポートを屋上に設置しました。綾瀬市消防や東海大学医学部付属病院高度救命救急センターと連携し、平時はドクターヘリによる救命救急の拠点、災害時には支援人員・支援物資等の防災拠点として地域に貢献します。

## 世界最大手の自動車パワートレインエンジニアリング会社の燃料電池システム向けにIHI電動ターボチャージャーが搭載決定

IHIは、自動車用パワートレインの開発、シミュレーション、テストを手掛ける世界最大手のパワートレインエンジニアリング会社AVL List GmbH（本社：オーストリア共和国グラーツ市、以下「AVL社」と、燃料電池システム向け電動ターボチャージャーについて協業しています。このたび、AVL社が開発するデモトラックに搭載予定のHyTruck 燃料電池システムに、IHI製電動ターボチャージャーが搭載されることが決定しました。

IHI製電動ターボチャージャーは、空気軸受けを採用したオイルフリー構造によって、スタックの被毒化を回避するとともに、モーターとインバーターの一体化およびタービンアシストにより小型化・省電力化を実現します。



<IHI燃料電池システム向け電動ターボチャージャーMサイズ>

# 主要な経営指標の推移

	日本基準			IFRS					IFRS
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 2Q	2022年度 (見通し)	2022年度 (前回見通し)
受注高	13,898億円	15,050億円	13,992億円	12,800億円	10,970億円	12,612億円	6,428億円	13,300億円	13,300億円
売上収益	14,683億円	15,903億円	14,834億円	12,631億円	11,129億円	11,729億円	5,944億円	13,500億円	13,500億円
営業利益	473億円	722億円	824億円	478億円	279億円	814億円	335億円	850億円	850億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	52億円	82億円	398億円	82億円	130億円	660億円	211億円	500億円	500億円
営業CF	653億円	990億円	464億円	424億円	363億円	1,141億円	▲ 99億円	1,300億円	1,300億円
投資CF	▲ 289億円	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 216億円	▲ 900億円	▲ 900億円
FCF	364億円	510億円	▲ 328億円	▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	▲ 316億円	400億円	400億円
配当	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株 式併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)	50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	70円/株 (中間30円、 期末40円)	-	80円/株 (中間40円、 期末40円)	80円/株 (中間40円、 期末40円)
ROIC	5.0%	7.7%	8.7%	4.1%	2.2%	6.4%	-	6.8%	6.8%
営業利益率	3.2%	4.5%	5.6%	3.8%	2.5%	6.9%	5.6%	6.3%	6.3%
CCC	87日	83日	97日	92日	124日	112日	-	96日	96日
D/Eレシオ	1.10倍	0.92倍	0.93倍	2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.16倍	1.05倍	1.05倍
ROE	1.6%	2.6%	11.8%	2.8%	4.5%	19.3%	-	12.6%	12.6%
親会社所有者帰属 持分比率	18.8%	19.9%	21.0%	15.0%	16.4%	20.3%	21.6%	22.9%	22.9%

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ: 有利子負債 / 資本合計

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

## 売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準								IFRS				主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22/2Q 累計	
売上収益(億円)	1,436	1,698	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	946	
累計販売台数(台)													
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	7,765	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	2,946	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	6,006	リージョナルジェット (70~110席級)
GEnx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	2,464	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	2,865	エアバス A320neo
Passport20							13	66	142	202	269	300	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	22,346	

販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

## 地域別売上収益・販売台数推移

(億円)

	日本基準							IFRS				
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	
											2Q累計	見通し
日本	339	353	375	346	389	398	446	391	354	380	194	400
アジア	248	298	275	216	158	117	110	107	85	118	72	120
中国	181	234	243	249	485	719	631	572	665	554	345	740
北米	13	16	18	24	33	84	116	108	90	131	107	300
中南米	0	0	7	34	61	74	75	66	69	115	72	130
欧州	432	602	756	743	617	811	513	289	199	195	108	210
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0
合計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	899	1,900
販売台数(万台)	518	554	589	536	610	790	676	600	551	492	274	600

## (1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	日本基準							IFRS				
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	
											2Q累計	見通し
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	93	94	123	121	60	121

## (2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'22年度2Q	60	26	21	12

# 豊洲1~3丁目地区 開発マップ

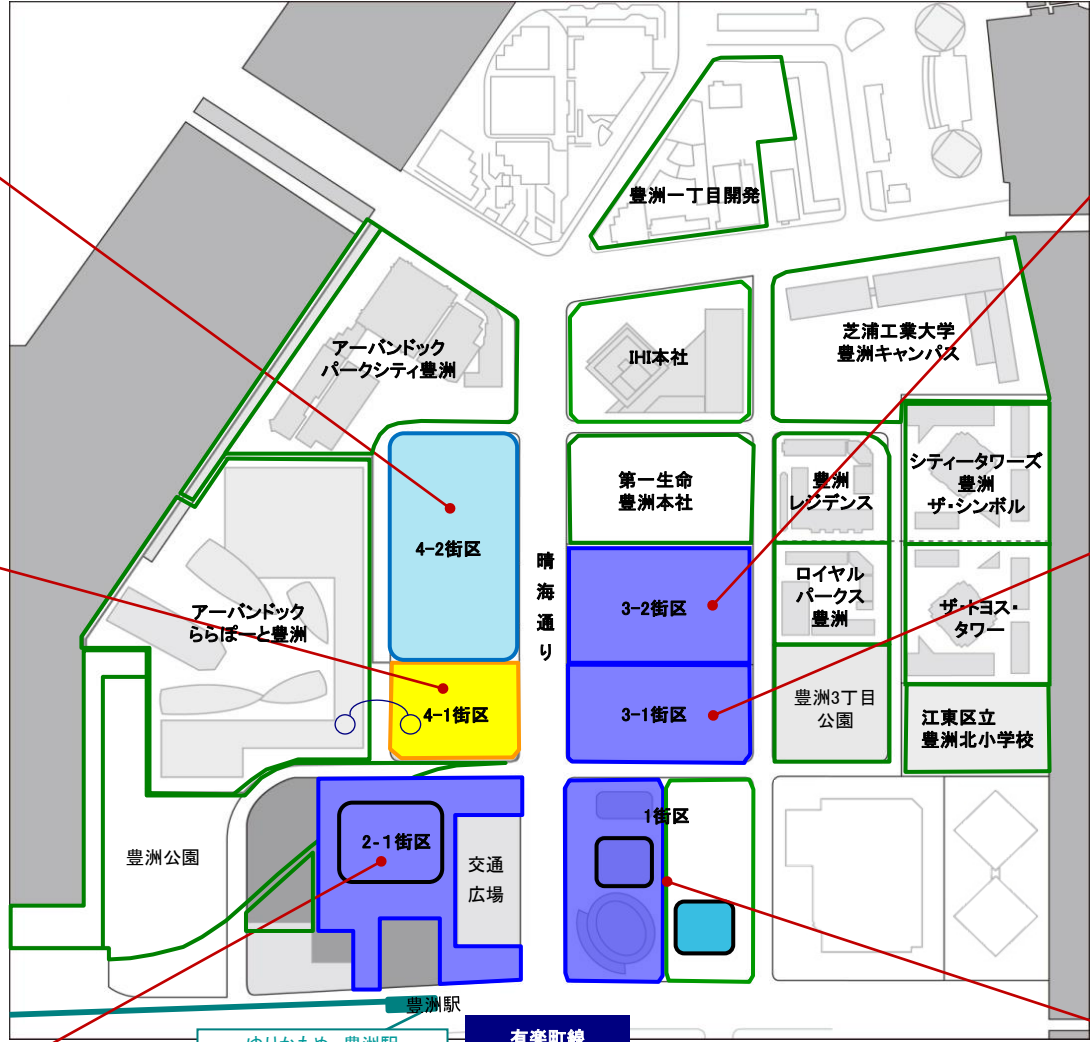
**豊洲4-2街区開発計画**  
敷地面積: 19,493㎡  
2022年7月着工～2025年6月竣工予定

**アーバンドック ららぽーと豊洲ANEX**  
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡  
2006年10月開業

**豊洲ベイサイドクロスタワー(AC棟)**  
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡  
2020年3月竣工

A棟

C棟



**豊洲フォレシア**  
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡  
2014年7月竣工

**豊洲フロント**  
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡  
2010年8月竣工

**豊洲センタービルアネックス**  
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡  
2006年8月竣工

**豊洲センタービル**  
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡  
1992年10月竣工

豊洲センタービル

同アネックス

■	建物賃貸
■	土地賃貸
■	建物賃貸(借地)
■	開発中
■	売却・寄付・交換済

IHI所有地	約5ha
--------	------

# IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。